



上内小学校だより

令和6年1月25日

No.12

文責：校長 馬籠 秀典

【学校の教育目標】ふるさとに誇りを持ち、心豊かでたくましく、未来を拓く上内っ子の育成

「明けましておめでとうございます。」3学期が始まりました。
子ども達にとって飛躍の年になりますように。

17日間という例年より幾分長い冬休みを終え1月9日（火）に、3学期の始業式を行いました。冬休み期間中は、上内小の児童が大きな事件や事故に巻き込まれることなく無事に始業式を迎えられ安心していらっしゃるようです。これも各ご家庭で冬休み期間中の生活についてご指導いただいたおかげだと感謝しております。

さて、今年は、年が明けるとすぐにつらいニュースがありました。元旦に石川県の能登半島を震源とする地震が発生し、多数の方々が命を落とされたばかりか、被災された多くの方々が避難所での生活を余儀なくされており日々の生活に苦勞されている状況です。また、翌日の1月2日（火）には羽田空港で事故があり、被災地に支援物資を送るはずの海上保安庁の航空機が民間航空機と接触し、民間航空機の方々の命に別状はなかったものの、海上保安庁の方々が命を落とされました。命を落とされた多くの方々への哀悼の意を捧げますとともに、一日も早く安心した生活ができるよう早急な復旧を願うばかりです。

さて、今年の干支は甲辰ということで、これまでコツコツと栄養を蓄えた種が芽を出し、龍が天に昇るように伸びて、花を咲かせる年。つまり、今まで頑張ってきた努力が実る年だそうです。始業式では子ども達に「無理だ、駄目だ」と諦めずに何事にも最後まで諦めずに頑張ると結果ができることをお話しました。また、3学期は1年間のまとめの学期でもあります。6年生の子ども達には、学校のリーダーとして頑張ってきた姿や下級生が目標とする姿を卒業する日まで見せてもらいたいとお話しました。5年生の子ども達には、次のリーダーとして仕事の引き継ぎと、6年生が安心して卒業できる生活態度で過ごすこと。4年生には、自分の事以外の下級生や学校のお世話ができるようになるための準備をしてほしいこと。1年生～3年生には、上級生をしっかりと支えることができるようになることをお話しました。子ども達は、姿勢を正してお話をしっかりと聞いていました。いつも子ども達の挨拶や聞く態度がよいことに感心をしています。

最後に、始業式の日朝は上内岬の気温計の表示板が-1℃を示し、非常に寒い日となりました。そのような中、地域の方々には子ども達の登校の際に交通安全のために見守り活動をしていただき感謝申し上げます。



〈3学期始業式の様子〉

メジャーリーガーの大谷翔平選手からグローブが届きました。

始業式終了後には米大リーグ、ドジャースの大谷翔平選手が日本の全小学校に贈るとしていた子ども用グラブが本校にも届いたため、お披露目をしました。送られてきたグローブは3個あり、子どもたちは教室に戻った後、6年生から順番に各教室でグローブに触れて喜んでいました。



〈1年生の様子〉



〈6年生の様子〉

グローブには大谷翔平選手から「野球しようぜ」と書かれたメッセージカードが添えられており、カードにも興味をもって見ていました。

地域の方々により正門に門松を飾っていただきました。

12月17日（日）に上内校区まちづくり協議会長の野田様を始め協議会の方々や古賀様のお陰で、正門に門松を飾っていただきました。寒い中早朝より集まれ門松作りをされました。皆さんが協力されとても手際よく短時間で立派な門松を作られました。

子ども達は、正門の門松を見ながら新年の訪れを感じ、新たな気持ちで新年の目標や3学期の目標を立てることができました。



〈門松作製の様子〉



〈飾られた門松〉

門松のお礼の会を行いました。

12月20日（水）の中休みの時間に、上内校区まちづくり協議会長の野田様と会計の境様をお招きし、全校児童で門松のお礼の会を行いました。まず校長先生から、子ども達に門松作りの時の様子や門松の由来についてお話がありました。次に、児童代表として境朝陽さんが感謝の気持ちを込めてお礼の言葉を述べました。野田会長からは、門松に込めた地域の方々の子供達への思いを話していただきました。その後、全員で記念撮影を行いました。いつも温かく見守っている地域の皆様には感謝いたします。

令和6年も上内小学校の子ども達のためによりしくお願いいたします。



〈児童代表挨拶の様子〉



〈児童全員で記念撮影をした様子〉